

■特別講演

リモートセンシング×AI:研究・ビジネスの最前線と今後の展開

Remote Sensing × AI: Frontiers in Research & Business and Future Directions

1) 日時・場所:

6月4日(水)13:00~15:00(120分) A会場

2) 司会:

篠原崇之・水落裕樹(産業技術総合研究所)

3) 概要:

近年、衛星画像や航空レーザ測距(LiDAR)、ドローン撮影など多様なリモートセンシングデータが飛躍的に増大するとともに、ディープラーニングをはじめとするAI技術の性能・適用範囲も急速に拡大している。本特別講演では、大学・国立研究機関・民間企業それぞれの立場から講師を招き、リモートセンシング×AIの研究開発動向とビジネス実装事例を紹介する。最後に、登壇者全員によるパネルディスカッションを行い、産学官連携による今後の展開や実装上の課題、次世代技術の展望について議論する。

4) 講演内容:

1. 横矢 直人(東京大学)

「オープンで公平な地球観測 AIの実現に向けて」

リモートセンシングにおいて、深層学習を用いた高精度な画像解析が進む一方、解析モデルは限られた地域・データに依存し、地域バイアスやドメインギャップといった課題がある。本講演では、これらの課題に取り組む OpenEarthMap プロジェクトを紹介する。OpenEarthMap は、土地被覆分類や高さ推定などの意味・幾何情報を対象としたグローバルなベンチマークである。環境モニタリング、都市計画、災害管理などの応用を支える公平な地球観測 AIの実現を目指す。

2. 金京淑(産業技術総合研究所)

「GeoAI 基盤技術の展望と国際標準化課題」

GeoAI 基盤モデルは、防災や都市計画など多分野での応用が期待される一方、データ品質、モデルの転移性、地理的偏りの軽減など多くの課題を抱えている。本発表では、技術的展望とともに、OGCにおける国際標準化の最新動向を紹介し、持続可能な GeoAI 実装に向けた課題と展望を考察する。

3. 安井 秀輔(株式会社スペースシフト)

「衛星リモートセンシング技術と AI: 民間事業の最前線」

近年、衛星リモートセンシング技術と AI の融合が加速し、民間事業において革新的な活用が進んでいます。本発表では、スペースシフトの取り組みを中心に、最新の AI 技術を用いた衛星データ解析の実例や取り組みをご紹介します。これにより、リモートセンシング技術がどのように実社会で活用され、新たな価値を生み出しているのかを探ります。

4. パネルディスカッション(30分)